

あさひの子

～自分から 自分で～

自ら正しく行う子

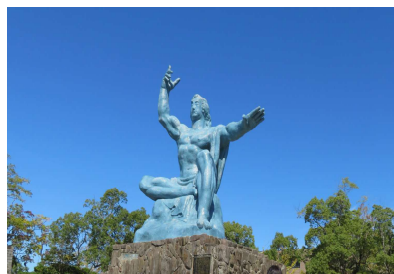
大村市立旭が丘小学校 学校だより NO.9

令和7年8月9日 校長 永富 伸介

80回目の県民祈りの日

夏休みも折り返しとなりました。今のところ、大きな事故や事件もなく、旭が丘小の子どもたちも元気に楽しく夏休みを送っているようで、まずは一安心といったところです。

さて、今年も、長崎市に原子爆弾が投下されてから80回目の8月9日がやってきました。旭が丘小でも、これまで、各種教材による平和学習、千羽鶴作り等の活動を通して平和の尊さや平和を守ることの大切さについて考えてきました。



80年前の今日、当時小学2年生だった亡き私の父は長崎市浦上駅そばの岩川町の自宅で被爆しました。父親と当時中学生だった二人の兄は「三菱重工長崎兵器製作所」で働いている際に被爆し、帰らぬ人となりました。遺骨等は見つからなかったそうです。運良く生き残った母親、父、4歳だった弟の三人は、命からがら漫画「はだしのゲン」さながらに、大村市松原地区に暮らす親類を頼ってやってきたのだそうです。普段は陽気な性格なのに、被爆体験の話題となると、口が重くなっていた父でしたが、あるとき酒を酌み交わしながら被爆体験からの生き様を教えてくれたことがありました。相当な苦労をしてきたようでした。飲み水を得るためにお墓に供えてあった水まで飲んでしまったことや被爆者であるが故に差別されてきたこと、常に自分自身や家族の健康への心配や不安が付きまとうことなどぼつりぼつりと話す姿が忘れられません。今となっては遅いのですが、父の思いや経験をもっと詳しく聴いておくべきだったと今でも悔いが残っています。

今日は80回目の「県民祈りの日」です。平和の大切さや命の尊さ、そして、日々共に過ごす中で、思いやりや優しさなどの身近な平和についても考える1日でもあります。今日は、登校日を取りやめとなりましたが、私たちは勤務日ですので11時2分に、職員室で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、黙とうを捧げました。平和集会は2学期が始まってから行う予定です。長崎県の子どもだからこそ、平和への意識を高め、自分が受けとめたことを自分の言葉で誰かに伝えていければ、よりよい世界にしていこうとする心が育まれていくのではないかと考えます。やはり、今の子どもたちが、平和の担い手なのです。御家庭でも話題にしていただけると幸いです。

私にとっても、この8月9日を思うことは、自分の父親を思うことでもあります。皆さんにとっても、身近な誰かにこの日の記憶や思いがあることだと思います。大切にしていきたいものですね。

御存知ありませんか・・・

理科室に「イノシシの剥製」があります。本校開校当初に地域の方が「子どもたちの学びになれば」と寄贈してくださったと聞いておりますが、どなただったのか記録がありません。匿名だったのかもしれませんが、昭和56年の開校から45年の月日が流れ、傷みが進んでいます。引越もあります。衛生上、処分せざるを得ない状況にあります。



しかしながら、寄贈して下さった方の子どもたちへの思いを考えると、簡単に廃棄することもできません。

つきましては保護者・地域の方でこの剥製の由来を御存知の方がおられましたら、9月一杯をめぐり是非学校までお知らせください。ちなみに、もう一つ。平成3年頃に寄贈された「スズメバチの巣」もあります・・・。こちら何かありましたらお知らせください。